えすぽわーる

10
2015
No.158
— SHINHAKODATE —

えすぽわーる新函館はＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌です

JA新はこだて
http://www.ja-shinhakodate.jp/

道南を農す（たがや）

紅（あか）く艶（つや）めく大きな果実
七飯のりんごは紅玉（ルビー）の輝き

農す ― 生きる力を体現した容姿、自然本来の鮮やかな彩り、四季折々で地域の景観であり続ける「農産物」と、それを生み出す「農業者」たちをシリーズで紹介していく。

果樹園での一枚。陽の光を浴びてりんごが輝いている。

【農産物】りんご

七飯町鳴川
宮後　英　子さん（62）
喜代子さん（84）

「りんご」には2種類の漢字があることをご存じだろうか。ひとつは「林檎」で、姫りんごなど古くからある小さな実の品種を表す。そしてもう一方が「苹果」。明治以降に欧米から日本に入ってきた大きな実の品種、いわゆる西洋りんごを指す。私たちが普段食べているのも、この「苹果」にあたる。

七飯町は、苹果（西洋りんご）の日本における発祥地だ。明治時代に技術指導で訪れたお雇い外国人のガルトネルが持ちこんだのが最初とされる。七飯の穏やかで昼夜の寒暖の差が大きい気候がりんご作りに適していて、以来150年にわたってりんご栽培が続いている。

七飯町鳴川の宮後さんも、りんご農家のひとり。現在は2500本の果樹を管理する。果樹園には新ブランドの「ななみつき」をはじめ、王林やつがる姫などの品種も並ぶ。りんごの他にも、プルーンなども育てている。

宮後さんのこだわりは「無袋栽培」。病害虫から守ることや日持ちを良くすることなどを目的に、果実に袋をかぶせることが多いが、宮後さんは袋かけをせずに栽培している。

「袋かけをしないことで、日光が良く当たって甘みが強くなる。」とメリットを話す。おいしさを何より一番に考えるのが、宮後さん流だ。宮後さんのりんごを求めて、町内外から訪れる方も多いという。

5年前からは「りんごの木のオーナー」の試みもスタート。「遠くは大阪からオーナーになる方もいます。オーナー同士で交流を行うこともあり、果樹園で顔なじみになる方も多いので、和気あいあいとした雰囲気で楽しみながら作業に励んでいます」と、笑顔で話してくれた。

①剪定は2月の雪が積もる中からスタート。りんご栽培には休みがない。　②5月は花が満開に咲いて、果樹園が最も華やぐ。ひとつのりんごに栄養を集めるために、厳選して摘んでいきます。　③真っ赤に色づいたりんごを選んで、ひとつひとつ手作業で丁寧に収穫します。　④収穫したりんごは、共選場で選別されて全道・全国に届けられる。

えすぽわーる

NO.158／2015年10月号

CONTENTS

② 道南を農す
④ 特集 実りの秋 今年もお米がとれました！
⑥ 協同の力
⑦ 新婚さんハッピートーク ～ゴール＆スタート～
⑧ トピックス
青年部が消費者向けのイベント開催
第7回食と農と愛をつなぐフェスティバル 他
⑩ Focus the JOB ～JAの仕事を紹介します～
⑪ あぐりレッスン
⑯ 地産地食図鑑

大沼から鹿部へ抜ける道道43号線沿いにあるこの看板。大沼で盛んな酪農を中心に、カーネーションと稲が描かれています。軍川小学校と大沼青年部の合作ということで、小学生らしいのびのびとした絵ですね。

特集 実りの秋 今年もお米がとれました!

三浦米穀課長が語る、27年産米のゆくえ

新幹線開業や食味ランキング特Aを契機に、道南のお米は飛躍のチャンスを迎えています。収穫を迎えたこの時期、米穀課の三浦課長に今後の販売展開について伺いました。

―新米のできはどうですか?

三浦課長(以下、三浦) 収量は平年並みと推測しています。品質は、外観品質が良く新米感があり、粒ぞろいがしっかりしています。

―これからの販売展開について教えて下さい。

三浦 最大のテーマは、生産者に対しては安定生産と継続できる米づくり、消費者にはストーリー性のある話題の創出によりPR効果を最大限発揮することです。

「ふっくりんこ」については特Aの追い風も活用しています。8月には畠山組合長と北斗市長が中京地方を訪れてトップセールスを行い、1500トンの単品拡販の成果を得ています。

―ストーリー性の創出とのことですが、どのような方策をお考えですか?

三浦 具体的には5つのテーマを掲げています。

①食べる取り組みを積極的に実施

土地の歴史やつくり手の顔・思いといったお米のストーリーを消費者に示します。それにより生産者への共感を持ってもらい、消費者が多様な生産を支えるようになると思います。

②食育食農の普及活動

学習や体験を通じて〝食と農〟を知ってもらうことが重要で、ひいては応援につながります。地域と連携して体験型イベントを企画していきます。

③専用ホームページを活用した産地情報発信

10月下旬にリニューアルし、消費者の関心を呼ぶ(見る・知る・得る)さらなる情報発信を進めます。

④地域情勢とのコラボによる認知度向上

北海道新幹線の開業とコラボし、米販売拡大委員会と連携したテレビCM、パールライスと連携した沿線産米(知内・木古内・北斗)の限定販売などを企画しています。

⑤新規需要獲得に向けた販売促進対応

中京地方でのふっくりんこの認知向上と販売拡大に向け、ストーリー性を持った継続ある対応を展開していきます。

―「風の子もち」についてはいかがですか?

三浦 地物量販店での取り扱い拡大と、消費者へのさらなる認知向上を目指します。

―加工品などで新しい企画はありますか?

三浦 ペットボトル入りのふっくりんこ玄米茶の新発売と、日本酒「飲ん米」のリニューアルを進めています。PB商品として、販路拡大やブランドの認知向上に向けて展開していきます。

ライスターミナル裏に新倉庫が完成

落成式であいさつする畠山組合長▶

北斗市村内にある「函館育ちライスターミナル」の裏に、新たな米倉庫が完成した。

９月２８日に引き渡し、３０日に落成式がそれぞれ行われ、稼働がスタートした。各地区とライスターミナル間における米輸送の効率化や低温による保管能力の向上など、米流通に役立てることが大きな目的。

新倉庫は、１，０７８平方メートル(３２６坪)の低温倉庫。保管能力は最大、製品で ３８，８００俵、原料籾で1.3トンコンテナ１，５５２個分を誇る。

１０月１日から平成27年度産米の流通もスタートし、ライスターミナルは目下フル稼働している。

茂辺地小の児童が稲刈り体験

北斗市の茂辺地小学校の児童１６名が稲刈りを体験しました。５月に児童が植えた苗が成長し、収穫を迎えました。１２月には今回収穫したお米を食べる「収穫祭」を予定しています。

今年度の新米初検査全量が１等

９月１８日、七飯支店で今年度はじめての米の検査が行われました。「ゆめぴりか」と「きたくりん」２１０俵が持ち込まれ、全量が１等米となりました。

組合長がプロ野球で「ふっくりんこ」をPR

畠山良一組合長は２６日、埼玉にある西武ドームを訪れ、プロ野球戦で「ふっくりんこ」をＰＲしました。ゆるキャラ「ずーしーほっきー」も登場し、スタジアムは湧き上がりました。

ふっくりんこがくっきり田んぼアート

大妻高校生と北斗市民有志が今年初めて挑戦した「田んぼアート」が９月、見ごろを迎えました。ふっくりんこが黄金色に色づき、キャラクターがくっきりと現れました。

協同の力

1人ひとりの力を合わせ、大きな力に。〝協同の力〟で地域農業をけん引する組織を紹介していく。

部会員が一つとなり、収益性の確保へ

森支店南瓜生産部会

設立1977年、部会員72人

●部会の設立経過についてお聞かせ下さい。

黒澤部会長　部会設立より前から、森町では南瓜を生産していました。その頃は果菜部会の品目の一つに含まれていて、「えびす南瓜」が主力品種でした。

その後、「みやこ南瓜」の生産量が増えてきた時期に、現在の南瓜部会が設立されました。今では森町で生産されている南瓜の8割くらいは「みやこ南瓜」です。

佐橋副部会長　森町は元々スイカ・メロンの産地で、それに代わるものとして「みやこ南瓜」の生産が始まりました。それから40年以上も経っていて、すぐに品種が変わるこの時代に、これだけ長い間1つの品種を生産しているのも珍しいと思います。

●今後の発展に向けて取り組んでいることは何ですか?

佐橋副部会長　技術向上に向けた勉強会を毎年1回は開催しています。今年は人工授粉の現地研修会を開きました。さらに、FAXなどで栽培技術向上に向けた情報提供も行っています。

販売に関しては、ここ3年くらいは単価も安定してきています。毎年の市場関係者との意見交換会で販売要請や情報収集をして、少しでも有利販売に繋がるよう取り組んでいます。

黒澤部会長　作付面積をこれ以上減らさないようにと、生産者に呼びかけています。平成8年に雹(ひょう)と豪雨の影響で疫病が大発生しました。それが原因で作付面積も毎年減少し、多い時の半分にまで減ってしまいました。

土壌改良をしたことで、今では疫病はあまり見られません。しかし、中には現在でも悩まされている生産者もいます。「みやこ南瓜」の生産量や作付面積の維持に向けた取り組みは今後も必要だと思っています。

●今後の課題などをお聞かせ下さい。

黒澤部会長　面積維持と収量確保が課題です。部会設立時から年々、生産者が減少傾向にあります。若い後継者を育てながら、面積維持に努めていきたいです。

また、病気の発生しない圃場を選んで3～4年で輪作をしていますが、収量が年々減ってきています。収量確保に向けて、輪作体系も含めた改善に皆で取り組んでいきたいです。

佐橋副部会長　長く同じ作物を栽培していれば現状維持にとどまり、組織としても停滞してしまうので、改善が必要だと思っています。

秀品率の向上による収益性確保を目標に部会員が一つとなり、南瓜を生産していて良かったと思えるよう取り組んでいきたいです。

〈取材　森支店　増田　清也〉

新婚さん！ハッピートークゴール&スタート vol.7

結婚というゴールを迎え、新たな人生をスタートさせた二人の出会いから交際、結婚にいたるまでの経過を紹介していく

北斗市　稲里
坂本　知　巳さん（38歳）
あすかさん（31歳）

【写真上】トマトの収穫作業をする知巳さん。「北斗市で１番の反収をあげることを目指しています」と語る。
【写真左】仲良く並んでくれた知巳さんとあすかさん、ひとり息子のれいじくん。「れいじの目元は、知巳さんに似ているんです」と、あすかさん。

積極的なアプローチにより、結婚へ

●二人の出会い…

坂本知巳（としみ）さんとあすかさんは、去年の8月8日に入籍した。

２人の出会いは、知巳さんが農閑期にスキー場でインストラクターをしていたとき。スキーに訪れた外国人グループを引率していたのが、北海道国際交流センターで働いていたあすかさんだった。初めてのお互いの印象を、知巳さんは「英語を喋っていて、カッコいい」、あすかさんは「既に結婚しているような雰囲気があった」と語る。

その後、２人の共通の友人に知巳さんが紹介してほしいと頼み、一度、友人も交えて対面。２人での３回目のデートで知巳さんから告白し、交際がスタートした。

●交際期間中…

２人は順調に交際を続け、一緒に食事などをしてお互いの仲を深めていった。知巳さんは「はじめて出会った時から、結婚したいと思っていた」と、決意を固めてプロポーズ。あすかさんは迷わず受け入れた。あすかさんは「プロポーズされた時には、お腹に赤ちゃんもいて、二重の喜びだった」とその時の気持ちを振り返る。

●これから…

知巳さんは「全品目で反収を増やしていきたい」と意気込んでいて、土壌改良などにも取り組んでいる。あすかさんは、結婚する時に知巳さんから「パートを雇って人手は足りているので、農作業の手伝いをしなくていい」と言われていたので、以前からの目標だった教員を目指して勉強中。７月に英語の教員免許の試験を終え、「今は子供が小さいので教員として働くのは無理ですが、大きくなったら一度は教壇に立ちたい」と夢を思い描いている。

最後に「子供は３人、女の子も欲しいです」と２人仲良く話をしてくれました。

〈取材　大野支店　藤澤　純一〉

続々とカップル成立
北斗・八雲で婚活イベント

大盛り上がりのバーベキュー（八雲）

スポーツ大会で汗を流した（北斗）

北斗と八雲でそれぞれ、婚活イベントが行われた。

９月５・６日には、大野支店が青年部員向けに「２０１５夏　食農体験型婚活ｉｎ北斗」を開催。部員１０名がエントリーし、１１名の女性が集まった。参加者はスポーツ交流会や収穫体験などを通して仲を深めた。終わりには６組のカップルが成立し、祝福の中で幕を閉じた。

八雲町では９月２７日に町内の若者向け婚活イベント「はちこん（実行委員会主催）」が開かれ、若手農業者９名が参加した。イベントでは、男女で協力してゲームやバーベキューなどを楽しみながら交流。終盤の「告白タイム」では農業者５名がカップル成立する成果となった。

意中の女性を射止めた長谷川公彦さん（３３）は「お互い、共通の趣味の話などで波長が合った。この出会いを大切に、前に進みたい」と笑顔で話した。

農業の担い手を育成するために
せたな町で農業塾開講式

◀高橋町長（右）から入塾許可証を受け取る若手農家（左）

せたな町は９月３日、同町役場で平成２７年度の「せたな町農業塾」の開講式を行った。生産技術の講習や先進地視察研修により、農業の担い手を育成することが目的。

開講式には町内の生産者７名が出席し、高橋貞光町長から入塾許可証の交付を受けた。

式終了後、檜山振興局農務課の開田主幹が「北海道内の農業担い手の現状について」をテーマに講義。檜山地方の農家減少などの課題を説明し、「塾生同士で横の連携を持ち、将来の変革を意識して農業に取り組んでほしい」と期待を寄せた。

農業とＪＡ事業を学ぶ
知内の小学生が社会科見学

◀真剣な表情で作業する児童

知内町内にある小学校の児童３３名は９月２日、知内支店の共選場を見学した。参加したのは、知内・湯ノ里・涌元の小学校３校の３年生。社会学習授業の一環として、農業やＪＡ事業について知ってもらうことを目的に、毎年行われている。

はじめに、ニラとホウレンソウの受け入れや、予冷保管・選別・出荷までの一連の流れについて説明を受けた。その後、ニラを自動包装機で一束ずつ包装する作業を順番に体験した。

知内小の三田大斗君は「ニラなどが出荷されるまでの仕組みがよくわかった。学校に戻り学習した内容をまとめたい」と感想を話した。

青年部が消費者向けのイベント開催

第７回 食と農と愛をつなぐフェスティバル

米すくいに挑戦する来場者

熱々の焼きそばやフランクフルトの屋台が人気を集めた

青年部は８月３０日、あぐりへい屋で「第７回食と農と愛をつなぐフェスティバル」を開催した。部員らが自ら売り場に立って消費者と交流しながら、地元の農畜産物を販売した。

この取り組みは、地域住民に農業について理解してもらうことを目的に毎年行われている。去年までは親子向けの収穫や料理体験などを行っていたが、今回は内容を一新した。

当日は各地区の部員や当ＪＡ職員合わせて約４０名が参加した。ダイコンやニラなどの野菜の格安販売や、はこだて和牛の焼きそばや若松ポークマンのフランクフルトを提供するフードコーナーが人気を集めた。また、米すくいや馬鈴薯詰め放題のイベントにも長い列ができた。

函館市から訪れた夫婦は「新じゃがを早速、塩煮で楽しみたい」と笑顔で話した。

延長戦を制せず、２回戦敗退

第５６回全道ＪＡ野球大会

◀豪快なスイングをする選手

当ＪＡ野球部は、９月２日から４日に江別市の野幌総合運動公園野球場で開催された「第５６回全道ＪＡ野球大会」に道南地区代表として出場した。

第１回戦はＪＡピンネと対戦したが、天候が悪く雨天中止となり、３日に再試合が行われた。試合は投打が噛み合い、８－０と快勝し、初戦を突破した。続く第２回戦ではＪＡ北いしかりと対戦。一進一退の攻防で試合が進み、最終回には同点に追いつき、延長戦へと突入した。しかし、最後は力尽きる形となり、６－１３で惜しくも敗退した。

部員らは今大会の経験を糧にし、全道制覇を目標に一丸となって練習に励むことを誓った。

北渡島の魅力を全道にＰＲ

「ＨＴＢイチオシ！まつり」に参加

◀力強い餅つきぼやしを披露する落部地区青年部員

北渡島地区の組合員と八雲基幹支店は、９月４～６日に札幌市内で開かれた「ＨＴＢイチオシ！まつり」に参加し、消費者に農産物や加工品をＰＲした。

会場では組合員１３名とＪＡ職員がブースを出店。八雲町の応援もあり、みょうがや軟白ねぎなどの野菜、「風の子もち」を使ったいかめしや炊き込みご飯の素などの加工品をＰＲ販売した。また、「やくもっちぃ」も登場して会場を沸かせた。

もち米消費拡大推進協議会の永井和広会長（５８）は「２回目の参加ということで、たくさんの人に地元農産物をＰＲすることができて嬉しい。今後も積極的に活動を続けていきたい」と抱負を語った。

Focus the JOB ～JAの仕事を紹介します～

今回は七飯支店営農センター。

目合わせ会の様子

営農センター事務所

組合員の立場で考え、相談しやすい体制づくりを

七飯支店営農センターは、営農課・生産施設課・花卉課・生産資材課の4課で構成されています。当地区では、人参・大根・長ネギなどの野菜の他、水稲・花卉・リンゴなど様々な品目を取り扱っています。

営農課では、担い手の育成や組合員の経営指導、補助事業や税務申告に関する事務などを行っています。生産施設課・花卉課では、倉庫などの施設運営や管理、生産組織の運営事務や農産物の集荷・販売を行っています。また生産施設課では、新たな試みとして品目別の販売担当職員による販売体制の確立に取り組んでいます。生産資材課では農業資材の取りまとめや配達などを行っています。また、組合員への渉外推進に力を入れています。

これからも、組合員の立場に立って考えてサポートし、気軽に相談できる営農センターを目指して、職員一丸となって頑張っていきます。

【連絡先】
亀田郡七飯町本町３丁目 18-52
TEL：0138-65-3078（営農課）
FAX：0138-65-8686
TEL：0138-65-3077（生産資材課）
FAX：0138-65-7740

檜山農業改良普及センター

大豆のコンバイン適期収穫

1 作物条件

茎 水 分	汎用コンバイン　５５％以下
	豆用コンバイン　６０％以下
子実水分	２０％以下（最適は１６％以下）
注 意 点	汚粒の原因となる、わい化病・雑草は収穫前に抜き取る
※茎がポキッと折れたらＯＫ！	

2 作業条件

刈り高さ	通常は７～８㎝
速　　度	秒速０．８ｍ程度 （良好条件は秒速１．０ｍ程度可能）
注 意 点	作業速度が速いとヘッドロスが増加し、大豆引抜きによる土砂の混入が多くなる

写真1 わい化病株

写真2 雑草(イヌホオズキ)

秋まき小麦の雪腐病防除

雪腐病は、根雪前の薬剤防除が有効です。

当地域では、褐色小粒菌核病と紅色雪腐病の発生が多く見られますので、防除に当たっては下記の防除薬剤例を参考にして下さい。

また、積雪期間が長くなると被害が多くなるので、翌春の融雪促進を行って下さい。

さらに、「ゆめちから」は耐雪性が「中」なので、雪腐病には注意して下さい。

写真3 褐色小粒菌核病

【防除薬剤例】

使用時期	薬　剤　名	使用倍率	使用回数
根雪前	フロンサイド水和剤又はＳＣ	1,000	2
	リゾレックスベフラン水和剤	500 ～ 750	2

※薬剤の使用に当たっては、ラベルをよく確認して、事故のないように注意して下さい。

写真4 紅色雪腐病

シリーズ連載企画

農業が求める女性の力

これからの農業は、農作物を作るだけではなく、消費者ニーズに合わせた安全・安心な食の提供、６次産業化、農村の活性化など幅広い視野や見聞を持ち、経営していく必要があります。

そこで求められるのが、生産者と消費者の両方の感覚を持ち合わせる女性の力。今、農業経営への女性参画や女性の担い手農業者の力が大いに期待されています。えすぽわーるでは「農業が求める女性の力」と題して、シリーズで特集します。

第一弾は、女性農業者の現状と期待される力について紹介します。

女性農業者の現状

農業を支える女性農業者

農業への女性の就業は農業就業人口の半数（図１・図２）を占めており、女性が農業の担い手として重要な役割を担っていることが分かります。

その中でも、基幹的農業従事者では、５０歳代において女性の割合が最も高くなっています。

しかし、年齢別の新規就農者数は、５０歳代は３２．８％ですが、４５歳未満の女性の就農者数は２３．２％と低い状況にあり、今後の農業の成長には、若い女性の参画が求められています。

図１　農業就業人口※１に占める女性の割合（全国）

農業就業人口	226 万 6,000 人	
女　　性	114 万 1,000 人	50.4%
男　　性	112 万 5,000 人	49.6%

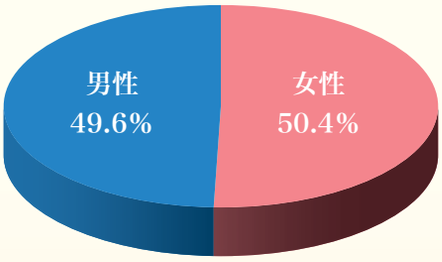


図２　年齢別基幹的農業従事者※２数

	39 歳以下	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 64	65 ～ 69	70 歳以上	合　計
基幹的農業従事者	83	86	209	246	264	791	1,679
うち女性	20	35	100	110	112	325	701
女性割合	24.3%	41.2%	47.8%	44.6%	42.3%	41.0%	41.8%

※１　農業就業人口とは、農業従事者のうち、「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い世帯員」のことをいいます。

※２　基幹的農業従事者とは、普段の主な状態が「主に仕事に従事していた者」をいいます。

《参考資料》図１・・・農林水産省「農林業センサス」（平成２６年）
図２・・・農林水産省「農業構造動態調査」（平成２６年）

高収益農家に女性の姿

女性は基幹的に農業に従事する者の４１．８％を占め、地域農業の振興において重要な役割を果たしています。特に女性が参画している経営体は販売金額が大きく（図３）、女性役員・管理職がいれば売上や収益力が向上する（図４）傾向が見られます。

図３　女性の基幹的農業従事者の有無（農産物販売金額規模別農家数割合）

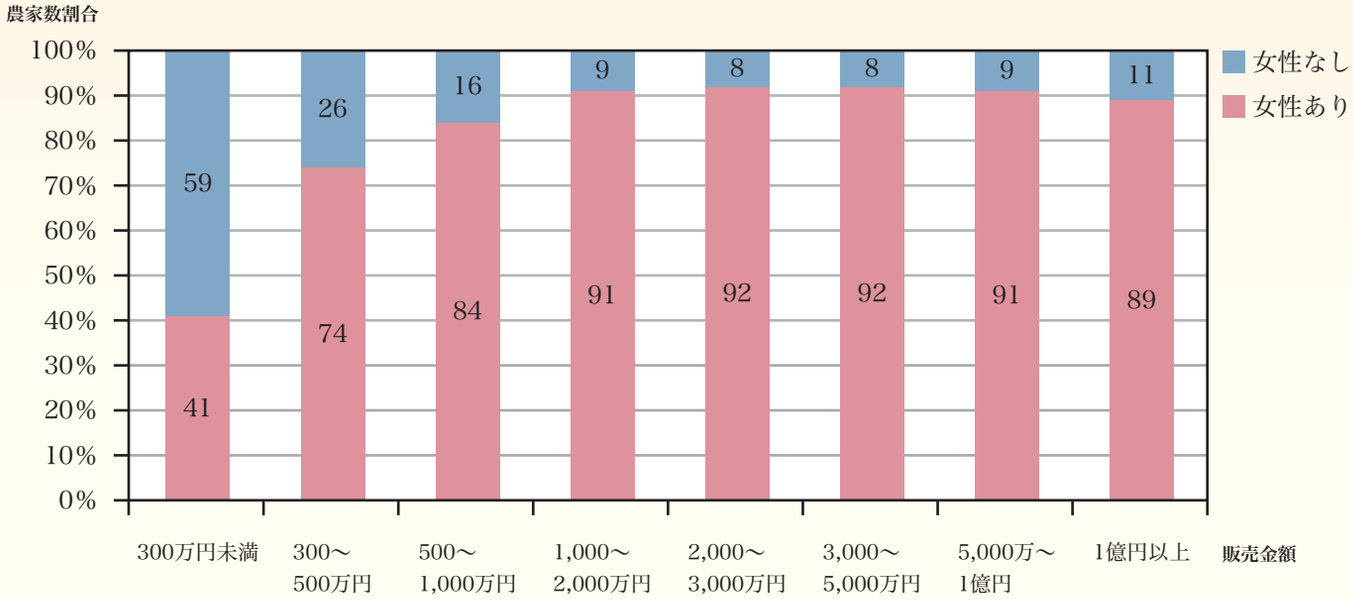
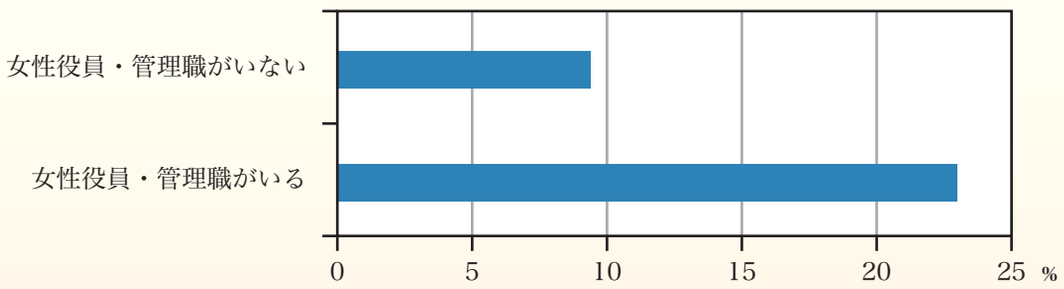


図４　日本政策金融公庫による農業経営体への融資後３年間の売上高増加率



《参考資料》図３　農林水産省「２０１０年世界農林業センサス」
図４　株式会社日本政策金融公庫「農業経営の現場での女性活躍状況調査」（平成２５年）

以上から、女性が経営に参画しているほど、売上が高くなる傾向にあることが言えます。女性が参画している農業経営の割合は、農産物の販売額が３００万円未満では４１％であるのに対し、金額が１，０００万円になると約９０％と高くなっています。

また、女性農業者の７割が農業経営の方針決定などに関与しており、４７％が経営者であるというデータもあります。女性の認定農業者の数も年々増加しており、女性が認定農業者になることによって、経営における女性の位置付けが明確になっています。

理事会開催報告

第9回　理事会(定例)　日時:平成27年9月29日(火)　午前10:30～　場所:北斗市総合分庁舎

議 案

1号　第２四半期定期監査に対する回答について
2号　上期決算に係るディスクロージャー誌の作成について
3号　ハウスリース事業に係る平成２７年度地域づくり推進事業の取進めについて
4号　職員への寒冷地手当の支給について
5号　麦の共計集荷諸掛の設定について

JA北海道信連　役員海外視察研修

◇日　程:8月26日～9月5日
◇参加者:畠山組合長、15JA、信連他　計23名

イギリス　ロンドン

農産物意見交換会
欧州で事業を展開する食品販売代理店と面談し、各地区の特産物や加工品をPRしました。畠山組合長は炊き立てのふっくりんこを用意。食味に好評価をいただきました。

スーパーマーケット視察
イギリスの大手チェーン「マークス＆スペンサー」「セインズベリーズ」、日系の「ジャパンセンター」の３店で、農産物の小売について視察しました。

スペイン　バルセロナ、マドリッド

農場視察
エコロジカルファームに認定された「カン・オリベーロ有機農場」、個人所有として最大手のワイン生産者「ボデガス・トーレスワイナリー」、家族経営の酪農家「ブラーボ農場」を訪れ、多様な農業に触れました。

市場視察
農畜産物や魚介を扱う「サンタ・カテリナ市場」「メルカ・マドリッド市場」を視察しました。

スペイン全国農協連合会
1989年に設立された、全国3,500の農協を束ねる組織です。政府やEUに農業者の意見を伝え、農業者の利益を守ります。

銀行視察
「カイシャ銀行」「バネスト銀行」「バンキンテル」の３行を視察し、信用事業の向上に向けた情報交換をしました。

函館市　久子さん
暑かった夏も過ぎ、トマトカレーを食べて元気を取り戻したいですネ。えすぽわーるからいつも若さを吸収してます。これからも楽しみに待ってます。
♣秋らしく澄んだ空模様になっていますね。カレーお送りしますのでぜひ召し上がってください。

八雲町　モーモーさん
たがやすのコーナーでミョウガの食べ方を紹介してもらいましたので、いろいろためしてみたいですo(^-^)o
♣他にもミョウガの唐揚げなども教えていただきました。ぜひ挑戦してみてください。

健康と生活を脅かす有害生物　防除・駆除消毒受付中

お悩みの方、お電話でお気軽にご相談下さい

お問い合わせは、資材課・Ａコープへ

キイロスズメバチ

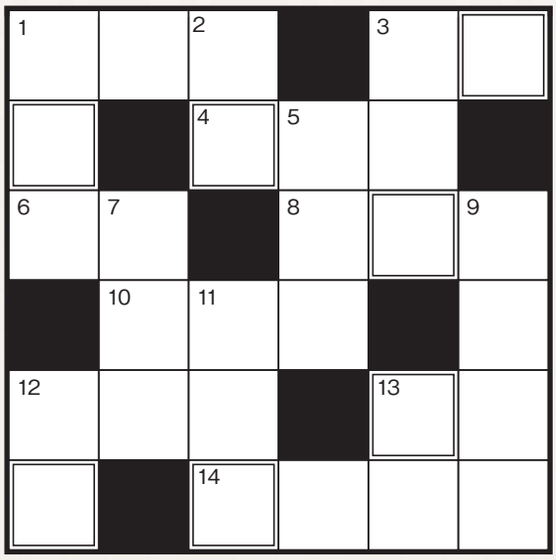
トビイロケアリ　ドブネズミ

スズメバチ・アリ・ネズミ・キクイムシ・ケムシ・カメムシ・マイマイガ等の不快、有害生物

みんなのまるめ広場

クロスワードクイズ

二重マスの文字を並べてできる言葉は何でしょうか？
中には今月号のえすぽわーるにヒントのカギがあるかも。



■ タテのカギ

1 主な仮名の並べ方といえば、五十音順と何順？
2 25 年前のヒット曲 「愛は○○」
3 スープ○○○、ドライ○○○、ライス○○○。
5 森町で一番多く育てられているカボチャの品種は、○○○南瓜。
7 りんごの実に袋をかけない育て方は、○○○栽培。
9 文学に親しむ○○○○の秋。
11 本名は平井太郎という、小説家の江戸川○○○。
12 キノコの○○が開く。
13 褒めて飴、叱って○○。

■ ヨコのカギ

1 実は、これとクジラの間に、明確な違いはありません。
3 大関は○○番になると降格の危機。
4 鍋にもぴったり。魚肉などを使った団子。
6 札幌ドームで大活躍、北海道日本○○ファイターズ。
8 1○○○= 約 0.91m
10 厚いくちびるは、これに例えられることも。
12 アメリカ議会で定数が多いのは○○○。
13 漫画家の「てづかおさむ」。名前の最後の漢字は?
14 雨具の一種。スペイン語です。

キーワードヒント このページのどこかに答えがある…?

プレゼント クイズの正解者の中から抽選で3名様に、以下の3種類からお好きな商品を3袋をお送りします。希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン（1袋2食入り）

農協のトマトカレー（1袋1食入り）

はこだて産本格いかめし（1袋2杯入り）

あて先 クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566
E-mailアドレス shinya.toda@ja-shinhakodate.com

9月号のこたえ

もみじおろし

クイズ当選者
七飯町 ゆうちゃんさん
函館市 久子さん
八雲町 モーモーさん

読者の声

厚沢部町 ソラパパさん
祭りの時にタイコたたいてたのしかった！ byソラ
♣いつもお便りありがとうございます。運動会で1位をとったり、お祭りで太鼓を叩いたり、アクティブで素晴らしいです！

せたな町 栗くんさん
各地区のまつりや特産物など話題が満載ですネ。
♣新はこだては広いので、各地で色々な取り組みをしています。他の町のイベントなどにも行ってみてはいかがですか？

知内町 ソラさん
表紙のみょうが。食欲をそそります。農協ラーメンに入れて食べたら、更においしそうですね。
♣ラーメンに入れるというのは思いつきませんでした！ 私も試してみようと思います。

七飯町 揚げドーナッツさん
様々なイベントや活動が分かりやすくておもしろいです。最近天気の変化が激しくなっているので大変ですね～。
♣お盆頃から晴れない日が続きましたが、最近ようやく落ち着いてきました。出来秋ですので収穫作業が順調に進むように願っています。

七飯町 ゆうちゃんさん
ミョウガ大好きです！ 若かった時食べずに、損したな～～。
♣私もミョウガ大好きです！ ……が、同年代だと食べる習慣がない人もいて、もったいないなーと思っています。

⬇応募用紙はこちら（切り取ってハガキにそのまま貼ってね。）

応募締め切り 10月23日（金）（当日消印有効）

※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせて頂きます。

キーワード □□□□□□□

ご希望のプレゼント ※下記のいずれか1つに○を付けて下さい
農協ラーメン・農協トマトカレー・函館産いかめし

住所
〒 －
氏名 年齢 TEL
ペンネーム 才 － －
組合区分 正組合員・准組合員・その他 ※○を付けて下さい
コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

八雲産の牛乳と熊石産の海産物を使う「二海カレー」850円(税込)

広げよう！
地産地食図鑑

★１９品目★
二海カレー

八雲と熊石の味覚がつまった新ご当地カレー

今回ご紹介するのは、「まるみ食堂」の篠原直樹店主が自信を持ってオススメする「二海カレー」です。北海道酪農発祥の地、八雲町の牛乳を使った、白いルーが目を引くカレーです。八雲駅の目の前にお店があります。

こだわりのルーは、牛乳をたっぷり使用し、セロリや人参、玉ねぎを刻み、ホタテを加えます。味付けには唐辛子やココナッツミルク、ニンニクなどを使い、ピリ辛に仕上げています。熱々のご飯の上には、揚げたてのタコや野菜など、旬の食材をたっぷりと盛り、ボリューム抜群の一品になっています。

篠原店主は「地場産品を使って地元を代表する料理を作り、地域を盛り上げたいとの思いで考えました。二階には宴会場もありますので、ぜひご利用ください」と話しました。

八雲の牧場でのびのびと育った牛たち

「こだわりの二海カレーをぜひ一度食べてください」と篠原店主。

まるみ食堂

住所：北海道二海郡八雲町本町 125　TEL：0137-62-2734
営業時間：11:00 ～ 15:00・17：00 ～ 20：30　定休日：不定休

編集後記

先日、我が家でもりんごを買い込みました。目的は「タルトタタン」。上下逆さにして焼くタルトで、具に香ばしい焦げ目がつくのが特徴です。

りんごはうまく煮えたのですが、タルト生地を作るのは私にはムリ。冷凍のパイ生地で代用したところ焼き時間が短く、焦げ目がつかない内に完成してしまいました。

結局できたのはただのアップルパイ。家族からは「上に生地が無くて食べづらい」と不評でした。いつかタルト生地に挑戦しようと、密かに心に誓いました。（真）

まるめ郎アルバム

いい感じのマルメロ発見！
ボクの体と入替えようかな（笑）
byまるめ郎

えすぽわーる新函館

第158号　平成27年10月10日発行
発　行／新函館農業協同組合
住　所／〒041-1201　北斗市本町1丁目1番21号（北斗市総合分庁舎隣）
電　話／0138−77−5555（代表）
ＦＡＸ／0138−77−5566
編　集／企画室
印　刷／有限会社　三和印刷

JA新はこだて facebook

ＪＡ新はこだてホームページからもご覧いただけます。
こちらも、よろしくお願いします。

「えすぽわーる」とはフランス語で「希望」という意味。「えすぽわーる新函館が読者の皆さんに希望を届ける広報誌になって欲しい」という願いが込められています。